

第3次飯能市教育大綱・第4期飯能市教育振興基本計画（素案）に対する意見募集の結果について

- 実施期間 令和8年1月9日(金)から令和8年1月22日(木)まで
- 閲覧場所 市役所本庁舎（3階）市政資料コーナー、飯能駅サービスコーナー、市民活動センター、各地区行政センター、市立図書館、飯能市ホームページ
- 第4期飯能市教育振興基本計画：実施結果2件（電子申請フォーム2件、意見箱への投函（及びメール提出）0件） ※第3次飯能市教育大綱：実施結果0件

No.	地区・年代	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	飯能地区・70代	『2学校給食設備の整備・充実【新設】 ○各小・中学校の給食室、共同調理場において、優先順位を見定め、施設、設備機器等の老朽化に対応し、必要に応じて集約化を検討します。』という一文に対して、学校給食が大変なことになっていると不安になりましたので、意見を述べさせていただきます。 飯能市は、先人の決定とその後の関係者の皆さんの努力のおかげで、長年公立小中学校で自校給食を実施しています。飯能市に住んで、公立校に通う子どもたちは、全員がこの恩恵を受けて育っています。これは大変優れたものであり、飯能市の大きな宝だと感じています。 私自身30年近く教師として飯能市の公立中学校で仕事をしましたが、いつも給食を生徒と一緒に楽しみにしてきました。学校では栄養士さんが、栄養豊かな食事を、美味しい状態で生徒が食べられるように、毎日の学校の行事、急な日程の変更、生徒の状態、地元の食材業者の状況などを見ながら、工夫をして出してくれていました。生徒の多くは学校での一番の楽しみは給食の時間と言い、10時を過ぎると調理室から流れてくる匂いを楽しんでいました。政策をつくる立場の方も飯能市育ちならば同じ経験をお持ちのことでしょう。 ある時に、埼玉県学校給食会の会長さんと電話でお話しする機会があり、私は飯能市の自校給食を誇りに思うとお話したところ、本来それが普通なのだとおっしゃられました。元々国は自校給食にすべきだとし、それができない場合に限って、自校給食が可能になるまでの代替策としてセンター方式（集約化）にしても良いとしたそうです。いまだにセンター方式なのは遅れたままなのだと。 このお話を聞き、改めて飯能市の先人に感謝する気持ちになりました。この自校給食を、経済的な理由で手放すことは許されない、みんなで努力して継続すべきです。 ちなみに、たまたま今日自宅に勉強をしにやってきた生徒たちにこの話について聞いたところ、全員が自校給食を続けてほしいと強くいっていました。どうぞ再検討をお願いします。	ご意見ありがとうございます。 子どもたちの豊かな学校生活や食育において、給食が大きな役割を果たしていることは、市としても十分に認識しております。本計画における「集約化の検討」については、非常に厳しい財政状況の中、老朽化した施設・設備の安全性を将来にわたって維持していくための手法の一つとして掲げているものです。今後も、安全・安心でおいしい給食を継続して提供できるよう、施設の状況や財政負担の平準化などを考慮しながら、学校給食施設の維持管理に努めてまいります。
2	飯能地区・40代	1（全体）冒頭に、データ集を入れてほしいです。読み手に現状が伝わらないと、計画も机上の空論化と思います。必要なデータは例えば以下のようなものです。 ・各小中学校の建築年・不登校児童・生徒数・いじめ認知件数・特別支援教室の利用者数 ・小中学校におけるICT環境の整備状況（学習系：校内LAN、一人一台パソコン）（校務系：学校間ネットワーク、校務支援システム） 2 小中学校における水泳授業について、財政負担軽減（プール施設の建て替えより、民間委託した方が安い）、学校プール施設の老朽化、水質等管理の教職員の負担軽減、計画的なプール授業の実施（熱中症リスクの軽減、雨天時でも実施できる）などから、プール授業を民間施設等で行う自治体が増えています。アレックス飯能スイミングスクールなどへの移行は検討していないでしょうか？ 3（30ページ）1生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する資質の育成と体力の向上の指標「体力テストにおける総合得点の平均値」となっていますが、「全国体力調査」のシャトルランの数値などの方が適当ではないでしょうか？全国平均と比較できます。 4（38ページ）教職員の負担軽減の促進について成果指標がありませんが、「残業時間の推移」などで測定すべきです。 5（手続き）パブリックコメントの意見を入力中、時間がたつと、「セッションが切れました」という事象。なんとかしてください。	ご意見ありがとうございます。 1. 本計画においては、市の現状について、関連する各施策の「現状と課題」の項目内にそれぞれ記載する構成としております。いただいたご意見は、今後のより分かりやすい計画づくりや資料作成の参考とさせていただきます。 2. 水泳授業の民間施設への委託は、教職員の負担軽減等の利点等ございますが、財政面のほか、広い市域を待つ本市の場合、施設への移動手段や移動時間の問題等もあり、民間施設への移行は、現時点では困難であると考えております。今後の研究課題とさせていただきます。 3. ご提案いただいたシャトルランなどの個別の数値も、有効な指標であると認識しております。本計画で指標とする「総合得点の平均値」につきましても、全国平均との比較が可能であるとともに、特定の能力に偏らず、子どもたちの体力を総合的に把握することが出来ます。そのため、引き続き本指標を活用し、着実な体力向上を図ってまいります。 4. 教職員の負担軽減に係る指標につきましても、市独自の数値目標を新たに設定するのではなく、国や埼玉県が定めている目標値の達成を目指すこととしております。国・県の基準に沿って、引き続き実効性のある働き方改革を推進してまいります。 5. ご不便をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。システムの仕様上、画面操作が180分ない場合や、通信環境が不安定な場合にタイムアウトとなる設定になっております。対策として、今後は入力画面等に注意喚起の文章を表示するよう設定を改善いたしました。